

## 第3回厚別区防犯ネットワーク会議 会議録

### 1 日時・会場

平成24年8月6日(月) 14:00～15:45

厚別区役所2階C会議室

### 2 出席者(敬称略)

倉賀野高行(小学校長会厚別支部)

齊藤 歆子(厚別中学校長会)

東 更司(もみじ台まちづくり会議)

上島 信一(北海道コカコーラボトリング(株))

齊藤 孝幸(同上)

鎌倉 秀幸(厚別区青少年育成委員会)

押田 純(森林公園町内会)

真木 秀雄(わかば町内会)

木谷 裕(厚別中央まちづくり会議)

長谷川雄助(厚別東まちづくり会議)

新谷 拓朗(厚別区東地区民児童協会)

牧野 弘志(厚別南まちづくり会議)

手塚 純子(厚別区PTA連合会)

和田 政男(厚別警察署生活安全課)

松浦 宏(厚別区土木部維持管理課)

志賀 弘朗 厚別区市民部総務企画課長

河井 力 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係長

西元寺直弘 厚別区市民部総務企画課地域安全担当係

### 3 会議内容

- (1) 子ども地域安全マップについて、共栄小学校において今年度実施した佐々木綾子先生より、パワーポイントを使用したプレゼンテーションを頂いた。佐々木先生からは事業を通じ、以下の点を教訓として示された。
  - ・今の子どもたちは情報過多で、ともすれば自分で危険を考えていく機会に乏しい。
  - ・事前準備を通じて、地域の方との協力関係を築くことができ、地域力を

感じる事ができた。

- ・ポラロイドカメラはデジカメに比べ情報量として適切で、撮影したものがすぐに使用でき、実用的である。
- ・子どもたちには危険への気付きの場が与えられ、自分で考えることの種を植え付ける事ができた。
- ・マップ作成が目標なのではなく、人づくりが真の目的であることに気付いた。

これに対し、参加者からは、まず佐々木先生及び共栄小学校の労を労う言葉があった。

続いて、この事業は地域への愛着心を養成する利点がある点を指摘する意見や、他学年との共同を提案する意見も出た。

マップ作りは作ることがメインだと思っていたが、今回のプレゼンを聞いて人づくりが主眼であることを知り、よく腑に落ちたという感想もあった。

## (2) 次第に基づいて、事務局より説明を行い、意見交換を行った。

### ア 地域で子どもをどう育てるか

- ・地域の大人の子どもへの声かけが、場合によっては不審者と間違われてしまう現実がある。学校の教育の問題もあるが、このような状況では地域は子どもへ声をかけづらい。
- ・上級生には下級生という弱いものを守るという意識を持ってほしい。学校にはそういう教育を望む。
- ・コミュニティの崩壊は昨今どこでも言われている。子どもたちの中に共助の精神を植え付けることが大事。そのために子ども社会の中に中核になるガキ大将が必要だ。子どもたちの心を相互に繋げていく、そうすることで心を強くしていくべき。
- ・子どもたちを町内会活動に巻き込んでいくことが必要だ。
- ・よい大人がいる町にはよい子が育つ。地域にはいろんな問題があるが、子どもたちは大人がどうやって問題を解決するのか見ている。大人は試されている。
- ・高齢化が進行し、子どもの見守りなど、実行部隊の確保に苦慮している。

### イ 第4回防犯ネットワーク会議の議題について

議 題：犯罪被害者について

開催日：11月中旬以降で後日調整

(3) 区からの報告事項

防犯研修会への参加を呼び掛けるとともに、参加者へチラシを配り、関係団体への周知を依頼した。